

作成日 1997年10月15日

改訂日 2012年9月3日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ボロシル
会社名	CBC株式会社
住所	東京都中央区月島2-15-13
電話番号	03-3536-4763
緊急時の電話番号	03-3536-4763
FAX番号	03-3536-4743
メールアドレス	m-gotou@cbc.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類実施日

物理化学的危険性

H24.8.30、事業者向けGHS分類ガイダンス(H21.3.1版)を使用

健康に対する有害性

環境に対する有害性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない
急性毒性(経口)	分類対象外
急性毒性(経皮)	分類対象外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・ 眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類対象外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生環境急性有害性	区分1
水生環境慢性有害性	区分1

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】
環境への放出を避けること。
【応急措置】
漏出物を回収すること。
【保管】
なし
【廃棄】
内容物、容器を関連法規並びに地方自治体の基準に従って廃棄すること。都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して、適切に処理すること。

国・地域情報

3. 組成及び成分情報

化学物質

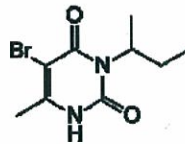
単一製品、混合物の区分
化学名又は一般名
含有量

混合物
5-ブロモ-3-sec-ブチル-6-メチルウラシル

成分
ブロマシル
鉍物質、界面活性剤

CAS登録番	% (重量)
314-40-9	4.0%
	96.0%

化学特性
(示性式又は構造式)



官報公示整理番号
(化審法・安衛法)
分類に寄与する不純物及び
安定化添加物
濃度又は濃度範囲

化審法:(5)-937
安衛法:-
データなし
ブロマシル:4.0%

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診察を受けること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。口をすすぎ、十分な水を飲ませること。症状が続く場合は、医師の診察を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状
最も重要な兆候及び症状

データなし
データなし

応急措置をする者の保護
医師に対する特別注意事項

データなし
データなし

5. 火災時の措置

消火剤

二酸化炭素、消火粉末、水噴霧。大火災の場合：水噴霧、アルコール耐性泡

使ってはならない消火剤
特有の危険有害性

データなし
加熱または燃焼により、一酸化炭素などの他に、臭化水素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には吸入しないように注意する。

特有の消火方法

消火作業は風上から行う。火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。水噴霧を用いて、燃えている容器を冷却する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。呼吸装置を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行うこと。漏出物の吸入や、眼・皮膚への接触に注意すること。漏出物が大量の場合、人を安全に退避させること。漏出物の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないよう十分に注意する。

回収・中和

データなし

封じ込め及び浄化方法・機材
二次災害の防止策

漏出したものを直ちに掃き取り、空容器に回収する。
データなし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

『8. ばく露防止措置及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与えまたは引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱い注意事項

吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する、また十分に換気を行うこと。

局所排気・全体換気

『8. ばく露防止措置及び保護措置』に記載の局所排気・全体換気を行う。

保管

技術的対策
混触危険物質
保管条件

データなし

酸化物質、酸性物質と一緒に保管しないこと。

容器を密閉して、冷所および乾燥した場所で保管すること。容器への直射日光や熱を避けること。容器を開けた場合、その旨のシールを添付すること。施錠できる場所で保管するか、アクセスを特別な指導を受けた作業員に制限された場所で保管すること。

容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
OSHA PEL	未設定
ACGIH TLV(s)	未設定
日本産業衛生学会	未設定
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。取扱い場所の近くに、眼の洗浄および身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸器の保護具 防塵マスク、簡易防塵マスク: 作業部屋が十分に換気されている場合は特に必要ではない。全ての作業場が限定されている場合や、十分な換気が確保されている場合は、特別な予防策は必要ではない。
	手の保護具 保護手袋: 製品・原体・製剤へ耐性のある不浸透性のグローブを着用すること。
	眼の保護具 保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具 保護服(作業服)
衛生対策	データなし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状	形状	粉状
	色	淡褐色
	臭い	特徴的な臭い
	pH	9.0
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
自然発火温度		自然発火物でない
燃焼性(固体、ガス)		データなし
爆発範囲		爆発物でない
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		データなし
オクタノール・水分配係数		データなし
分解温度		データなし
粘度		データなし
粉じん爆発下限濃度		データなし
最小発火エネルギー		データなし
体積抵抗率(導電率)		データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常 of 取扱いにおいて安定。
危険有害反応可能性	特になし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	強酸化剤、強酸物質
危険有害な分解生成物	加熱、燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、臭化水素などが生成される。

11. 有害性情報

急性毒性 経口

ラット(雄) :LD50 4,027mg/kg

ラット(雌) :LD50 3,673mg/kg

マウス(雄、雌) :LD50 >5,000mg/kg

経皮

ラット(雄、雌) :LD50 >2,000mg/kg

吸入

吸入(ガス): GHS定義における固体である。

吸入(蒸気): データなし

吸入(粉じん): データなし

吸入(ミスト): データなし

皮膚腐食性・刺激性

ウサギを用いた皮膚一次刺激性試験で陽性の結果が出ているが、判定基準に用いるための十分なデータが得られないため、分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

ウサギを用いた眼一次刺激性試験で陽性の結果が出ているが、判定基準に用いるための十分なデータが得られないため、分類できないとした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性 :データなし

皮膚感作性 :陰性(モルモット)

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)

データなし

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性

緑藻を用いた水生環境急性有害性試験において、EC50(72h):0.235mg/lのデータから、区分1とした。

水生環境慢性有害性

藻類を用いた水生環境慢性有害性試験において、NOEC(72h):0.188mg/lのデータから、区分1とした。

生体毒性 魚類:コイ

:LC50(48h) 22.5mg/l

:LC50(96h) 19.5mg/l

甲殻類:オオミジンコ

:EC50(48h) 675mg/l

:NOEC 455mg/l

藻類:緑藻

:EC50(0-72h) 0.235mg/l

:EC50(24-48h) 0.682mg/l

:EC50(24-72h) 0.690mg/l

:NOEC(72h) 0.188mg/l

残留性/分解性

データなし

生体蓄積性(BCF)

データなし

土壌中の移動性

データなし

PBT/vPvB評価結果

データなし

その他

データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

内容物、容器を関連法規ならびに国・地方自治体の基準に従って廃棄すること。都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。廃棄物または汚染した土壌は、許可された埋め立てごみ処理場で処分し、河川または下水に流さないこと。

汚染容器及び包装

使用済みの空袋、空容器は適切に処理すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	3077
品名	Environmentally Hazardous Substance, Solid, N.O.S.
国連分類	クラス9
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	該当
注意事項	取扱いの指示に従うこと。

15. 適用法令

農薬取締法	第17596号
化審法	プロマシル: 既存化学物質
労働安全衛生法	第57条の2 通知対象物 プロマシル(政令番号502)
化学物質管理促進法(PRTR法)	プロマシル(第1種・383)

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づき作成されており、新しい知見により改定されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。